



2学期のスタート

- 先日の台風7号により被害を受けられたご家庭の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。猛暑、そして台風と、厳しく危険な気象状況に対応を迫られた夏休みでした。それでも八鹿っ子がそれぞれ元気に毎日を過ごし、充実感と達成感を持って始業式の日を迎えることができましたのも、地域やご家庭の皆様のご協力とご支援があつてのことです。
- 2学期には、運動会をはじめとして、マラソン大会や創立150周年記念行事等、多くの学校行事を計画しています。日々の学校生活、行事を通して、一人一人が自己肯定感を高め、よりいっそう自分を好きになれるよう「よろこびが生まれる学校」づくりに向けて、全職員一丸となって教育活動を創造していきます。2学期もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



夏休みの八鹿っ子

■ 地区水泳

4年ぶりに夏休みの地区水泳が実施され、多くの子どもたちで賑わいました。プールから子どもたちの元気な声が聞こえる夏は本当に久しぶりです。猛暑のため、7月24日～31日の6日間の実施となりましたが、子どもたちにとっては思い出に残る夏の体験になったことでしょう。運営にご尽力いただいたPTAの皆様へ感謝申し上げます。



■ 各地区でのラジオ体操

大人も子どももいっしょに体を動かす、夏休みならではの光景です。各地区の皆様も多数ご参加いただき、子どもたちとともに、気持ちの良い汗を流しておられました。子どもたちにとって、夏休みは、地域の方々とふれあう貴重な時間であることを改めて感じました。



■ 高校生とふれあう八鹿っ子

4年ぶりに八鹿っ子が高校生とふれあう機会をもつことができました。7月24日・25日には、立誠舎で八鹿高校生に勉強を教わる「高校生そうあん塾」（八鹿自治協議会主催）が、7月26日には、八鹿高校 ESS クラブの皆さんから英語の楽しさを教わる「英語であそぼう」が開催されました。優しく接してくれる高校生は、八鹿っ子にとって、とても頼もしい先輩に感じられたことでしょう。学校種をこえて年長者と学んだり遊んだりする経験は、子どもたちにとって地域の先輩への親しみやあこがれをもつ機会となりました。



立誠舎で高校生と夏休みの宿題に取り組みました



英語を使つてのゲームで楽しく英語に親しみました

■ 養父市陸上競技大会

養父市陸上競技選手権大会（8月19日）には八鹿小学校から37名の選手が参加しました。他校の選手と競うチャンスに挑戦した選手たちは自分の力を試し、懸命に走り、跳びました。参加した選手の健闘を讃えます。



猛暑の中、力走



表彰式

■ 学校運営協議会「学校環境整備活動」【8月19日】

学校運営協議会からの呼びかけにより、地域の方々14名のご参加をいただきました。2学期の教育活動に向けて、また翌日のPTA奉仕作業の下準備として、校地内の草刈りや剪定をしていただきました。八鹿っ子のために、地域の皆様からこれほどまでのご協力をいただけることに大変心強い思いがしました。



■ PTA奉仕作業【8月20日】

夏休み最後の日曜日にPTA奉仕作業を実施していただきました。猛暑にもかかわらず、多数の保護者の皆様のご参加をいただきました。また6年生も作業に参加してくれました。美しく整えられた校舎まわり、磨き上げられた教室の窓。清々しい気持ちで2学期をスタートすることができます。

前日に実施された学校運営協議会学校環境整備活動と合わせて、まさに学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学習活動を支えていただいていることを実感した2日間でした。お世話になりました皆様に心から感謝申し上げます。



9月の行事予定

4日 (月) 委員会活動	21日 (木) ようかっ子教室
5日 (火) 児童朝会	22日 (金) 3年社会見学（大庄屋）
7日 (木) ようかっ子教室	23日 (土) 秋分の日
11日 (月) 運動会係打合せ(6校時) 1～5年 14:30 下校	25日 (水) 委員会活動
12日 (火) 全校朝会	26日 (木) 音楽朝会
15日 (金) 5校時前日準備 1～5年 13:30 下校 6年 15:00 下校	27日 (金) お話広場（中）後期児童会役員選挙
16日 (土) 運動会 8:45 開会 一斉 15:00	28日 (土) ようかっ子教室 代表委員会
19日 (火) 振替休業日	29日 (日) 4年校外学習（バルーンようか）
20日 (水) お話広場（高）	

【創立150周年・八鹿小学校教育の中にある心】（2）「希望の像」



昭和36年（62年前）、創立88周年にあたり本町在住田中寛氏の寄贈により八鹿小学校児童の生活目標として建立されました。台座には「希望にもえて」と刻まれています。この言葉には「児童各自がそれぞれの個性に応じて、将来に対して大きな夢をいだけながら希望にもえて、相ともに手をたずさえて、常に明朗で健康で、澆刺として、目的的で意欲の旺盛な主体的な学習を旨とするものである」という願いが込められていると88周年記念誌に記してあります。

表現されている文体は古めかしい感じもしますが、ここに込められている願いは、令和の子どもたちに求められる資質能力となにも変わりません。八鹿という地域が、60年以上前から、すでにこのような子ども像や願いをもっている地域だったということに驚かされます。現在「希望の像」は正面玄関西側に移設されています。